

# 5年1組 総合的な学習の時間学習指導案

## 「笑顔でかがやこう会見～保育園交流で見つけよう すてきな関わり方」

日 時 平成29年9月15日（金）3校時  
場 所 5年1組教室

### 1. 単元について

#### (1) 単元の価値

本学級の児童は、4年生の時に「ホタル」をテーマにホタルの幼虫の放流などを通して、地域の方と交流をした。また、5年生の1学期は、ホタルについて学んだことを、学校の友だちや地域の方に伝えたいという思いをもち、低学年のクラスにおいてホタルクイズを発表したり、ホタルまつりを盛り上げようと地域の保育園や図書館にポスターを掲示したりする活動を一人ひとりが行った。ホタルの活動を通して、地域の方や学校の友だちなどに関わりを深めた。

5月に行われた運動会では、下学年のダンスや上学年の組体操の練習を年長児が参観に来る機会があった。初めての交流の機会となる活動に先立ち、事前に5年生と年長児のペアを決めて、ペアと一緒に活動をしていくことにした。初めて5年生と年長児が出会った際は、5年生が年長児に運動会の招待状を渡し、休憩時間に一緒に遊ぶ活動をした。事前の招待状作りでは、文面をひらがなで書いたり、絵を入れたりした。また、当日渡す際には、招待状の文章を読み上げて渡すことにした。相手を意識した活動を大切にすることを心がけた。

運動会当日は、5年生と年長児の競技「来年待ってるよ」では、5年生が手作りをしたお面をプレゼントした。この活動を通して、子どもたちはもっと年長児と交流をしたいという思いをもつようになった。そこで、7月に保育園の年長児が小学校に来ることを伝え、どのような活動をするか子どもたちと話し合った。最初は、「年長さんと一緒に遊ぶ。」「かくれんぼをする。」など、自分達の思いを優先する意見が多かった。話し合いを進めるうちに、「年長さんは、保育園から歩いて来る。」「7月は暑い。」など、相手のことを思う気持ちが生まれ、「暑い中来てくれるので、小学校のプールと一緒に入るのがよい。」という意見にまとまり、プール交流をすることになった。ペアのグループは男女混合であり、男の子と女の子のペアもある。初めは、異性のペアであることにとまどいをもつ児童もいたが、「相手が喜んでくれると、自分もうれしい。」「こちらが笑顔で接すると、相手も笑顔になってくれる。」など、自分達の関わりを振り返ることができるようになった。

すてきな関わり方とは、相手の立場に立ち相手のことを思いやり、自分の思いを相手にわかりやすく伝えることであると考える。この単元では、年長児との関わりを通して、相手の気持ちを考えたり、自分の言動をどうすればよいか考えたりしていくことを目標にしている。目標に向かう中で、今までの自分はどのように人と関わってきたかを振り返る機会にしたい。そこから、交流を通して自分の成長を実感できるようにしたいと考える。

#### (2) 児童の実態

今年度の7月に行った「総合的な学習の時間」についてのアンケートでは、下記の通りである。

	そう思う (%)	どちらかといえばそう思う (%)	どちらかといえばそう思わない (%)	そう思わない (%)
みよりの時間の勉強は好きだ	73	20	7	0
みよりの時間では、学級やグループの中で自分達で課題を立てて、その解決に向けて進んで人に聞いたり、本や新聞、インターネットなどで情報を集めたりしている。	49	44	7	0
みよりの時間で、学級の友だちや地域と方と話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている。	32	50	9	9
みよりの時間で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表している。	27	56	17	0
みよりの時間で学習したことは、ふだんの生活や社会に出たときに役立つと思う。	71	20	7	2

本学級の児童は、4年生から5年生の1学期にかけて、ホタルの活動を通して地域の方や異学年とかかわってきた。多くの児童はみよりの学習が好きであり、学習したことは普段の生活や社会に出たときに役立つと考えている。ホタルの学習では、地域の方に話を聞いたり、図書館の本で調べたりと、情報を集める活動や、グループや学級の友だちの話聞き、自分の知っている事柄を伝え合う活動などを行ってきた。

しかし、自分の考えをどうすれば相手がよく理解できるかを考えたり、そのためにどのような手段を用いたらよいかということを考えたりすることは、まだ経験が不足していると言える。そのため、この学習を通して、まず自分の思いや考えをしっかりとつようにしたい。そして、その思いや考えを相手にわかりやすく伝えるための方法や手段を知り、その中で最善であると考えてる方法や手段を用いて自分の思いや考えを伝えられるようにしていきたい。

#### (3) 指導にあたって

##### ①お互いを認め合う関わり方を探究するための課題設定

初めて出会った年長児との交流では、何を言ったらよいか、どのような行動をとればよいか戸惑いを感じたり、悩んだりする姿が見られた。交流を重ねる中で、「どうすればもっと仲よくなれるか。」を自分で考えられるようにしていきたい。そのため、交流に向けて毎回自分のめあてを確認し、めあてを達成するために自分ができることを考えるようにしたい。

##### ②友だちの成長を認め、自分の成長を実感する手立て

年長児との関わりでは、小さな子に対して自然に優しい言葉が出たり、相手を気遣う行動ができたりする。普段の生活では自分の思いを優先しがちになり、友だちに対して言動がきつくなることもある。保育園児の交流で保育園の年長児に関わることを通して、普段の生活における自分の行動を振り返り、また自分自身の変容を感じ、自分の成長を認めることができるようにするため、振り返りを大切にしたい。

##### ③自分の思いや考えを伝え合う場の設定

発表に関して、恥ずかしさや苦手意識をもっている児童も多い。そこで、発表に至るまでに自分の考えをまとめたり、相手に伝えたいことは何かを考えたりする時間を確保するようにする。そして、まずはグループで自分の考えを発表する経験を重ね、発表自体に慣れるとともに、もっと相手にわかりやすく伝えるにはどうすればよいかを考えられるように、発表の際にワークシートや思考ツールなどを用いた活動をしていく。

##### ④自分のめあてを達成できる場の設定

年長児との交流を繰り返すことで、1回目はうまく関わるができなかったとしても、その経験を次のめあてにつなげ、その次の活動ではめあてが達成できるよう、交流の機会を確保したい。また、交流では保育園児とペアになることで、「年長さん」ではなく「〇〇くん」「〇〇ちゃん」という一人ひとりを意識した交流につなげ、ペアの相手と話した内容、ペアのつぶやきや反応を、わかりやすく実感できるようにする。

### 2. 単元目標

- ・年長児との交流を通して、お互いを認め合うすてきな関わり方について考え実践することができる。
- ・交流を重ねる中で、自分自身の成長を感じたり、友だちのよさに気付いたりすることができる。

### 3. 単元の評価規準

①知識や技能	②思考力・判断力・表現力等	③学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの
ア 保育園交流を通して、一人一人の状況に応じて配慮が求められることに気付いている（個別性）	ア 年長児との交流を通して、学んだことをまとめたり、自分の課題を見つけ伝えたりしている。	ア これまでの自分を振り返り、新たな課題を見つけ、その解決に向けて活動している。
イ 保育園交流を通して、年長児や年長児に関わる人の思いを理解している。	イ 自分の思いや考えがよりわかりやすく伝わるように、表現方法を話し合っている。	イ 学習を振り返って、自分や友だちのよさに気づき、これからの生活に生かそうとしている。
ウ 保育園の交流を通して、互いに関わりながら自分自身のよさや成長を実感し、理解している（相互性）	ウ 交流を通して学んだことや、自分の変容を友だちにわかりやすく伝えるために、成長曲線などを使ってまとめ方を工夫している。	
エ 交流を通して学んだことや自分の成長を成長曲線などを使って分かりやすくまとめたり、伝えたりする技能		

## 4. 単元構成（全58時間）

○学習活動	子どもの問い・思考	評価規準
保育園の年長さんを運動会に招待しよう。		
○運動会練習を年長児が見に来ることを知り、運動会に招待するための招待状を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会にも招待したい。</li> <li>・長休憩は、小学校の校庭で一緒に遊ぼう。</li> <li>・招待状を渡すので、年長さんの名前を知りたい。</li> </ul>	①ア
○運動会練習を見に来る年長さんと出会い、運動会の招待状を渡す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状の字が読めないかもしれないので、招待状を渡す時には、読んであげよう。</li> </ul>	①ア
年長さんと一緒に運動会の競技をしよう		
○年長さんと一緒にやる運動会競技について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友だちと一緒にやる競技がいいな。</li> <li>・どんなキャラクターが好きか、事前の交流の時に聞いてみよう。</li> </ul>	②ア
○プレゼントのお面作りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友だちに喜んでもらえるようなお面を作ろう。</li> </ul>	②ア
7月の交流では、どのような活動をするか話し合おう		
○7月の交流ではどのような活動をするかグループや学級で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長さんはどんな気持ちで学校に来るのかな。</li> <li>・暑い時期に歩いて小学校に来るのは大変だ。</li> <li>・学校のことを教えてあげたい。</li> <li>・保育園よりも大きなプールがあるので、一緒に入ったらいいかな。</li> </ul>	②イ
プール交流の内容を話し合おう		
○プールで一緒に交流をするために、どのような活動をしたらいいか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の先生が、何をするか見通しが持てるといいと言われていたよ。</li> <li>・プログラムを作るとわかりやすいね。</li> <li>・字だけではなくて、絵も入れるといいね。</li> <li>・活動のふりかえりをする。</li> </ul>	①イ ②イ
9月の交流に向けて自分のめあてをたてよう		
○今度は自分達が保育園に行って交流をしたいことを伝えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は自分達が保育園に行きたい。</li> <li>・そのことを保育園の園長先生に伝えよう。</li> <li>・電話でお願いをしたり、手紙を渡したりしよう。</li> </ul>	③ア ③イ
9月5日の交流を振り返り、これからのめあてを考えよう		
【本時】 ○9月5日に行った保育園での交流で見た年長児や年長児に関わる保育園の先生の姿を思い出し、これからの交流のめあてを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友だちが楽しそうに活動をしていた。</li> <li>・保育園の先生が、ていねいに声をかけていた。</li> <li>・先生はすぐに手を貸さずに、じっと見守っていた。</li> </ul>	②ア

年長さんともっと仲よくなるための活動を考えよう		①ア ①イ
○就学時健診に来る年長さんと、一緒にまわったり、空いた時間に何をするか考えたりしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健診の際に一緒にまわろう。</li> <li>・6年生も1年生と一緒に身体測定をしていたね。</li> <li>・空いた時間に何をするか考えよう。</li> </ul>	
2回目の保育園での交流では、どのような活動をするか考えよう		②ア ②イ
○2回目の保育園での交流で、年長児に楽しんでもらえる交流の活動を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目の交流なので、年長さんがよろこんでくれるように準備ができるといいね。</li> <li>・活動する際はグループになるといいかな。</li> </ul>	
交流を通して学んだすてきな関わり方について伝え合おう		②ウ ③ア
○年長児との交流を通して学んだことや、自分の成長を伝えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はどのように関わればよいかわからなかったけど、自分から声をかけることができたようになった。</li> </ul>	
○自分や友だちのよさやに気づき、これからの生活にどのように生かしていくかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの友だちが喜んでくれたら、自分もうれしくなった。</li> </ul>	
体験入学に向けて、活動の内容を考えよう		②イ
○もうすぐ1年生になる年長児が、入学することが楽しみになるように、小学校の生活の楽しさを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうすぐ1年生になる年長さんに小学校のことを教えよう。</li> <li>・小学校の生活について、わかりやすく伝えよう。</li> </ul>	
今までの交流を振り返り、自分の成長を発表しよう		①エ ③イ
○1年間の交流を振り返り、4月から最上級生になるという自覚をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな6年生になりたいかを考えて、自分の目標をたてよう。</li> </ul>	

## 5. 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・9月5日の保育園交流を通して気付いたことを友だちに伝え合い、これからどのような自分になりたいか考え伝えよう。

### (2) 準備物

- ・みのりファイル イーゼル

# 6. 本時について (12 / 14 時間)

## 目指す姿

保育園交流を通して気付いた年長さんの様子や気づいたことを友だちに伝え合う。これからどんな自分になりたいかを考えて発表する。

・はじめてのあいさつ  
・今までの交流を振り返る

### 【主な学習活動・内容】

#### 課題

九月五日の交流を通して気付いたことを伝え合い、これからどんな自分になりたいかを考え発表しよう。

年長さんについて気が付いたことや活動を通して考えたことを伝え合おう。

・活動を通して気が付いたことや、活動を通して考えたことを、ワークシートを用いて班の友だちに伝える。

友だちの思いを知り、クラスの友だちに伝える。

・班の友だちが交流を通して考えたことや思ったことを知り、クラスの友だちに思いを伝える。

どんな自分になりたいかを考えて発表する。

・今までの交流でうれしかったことから、自分の生活に生かしていきたいことを考え、友だちに伝える。

本時の振り返りをする。

・あいさつ

年長さんが自分で考えて作品を上手につくっていた。

年長さんのあいさつの声がすごく大きかった。

先生は手を出さずに見守っていた。やさしい声をかけていた。

ペアの年長さんと仲良くなれた。もっと一緒に活動したい。

友だちが思っていたことがよくわかった。

年長さんが笑顔で話してくれたから私も笑顔で人と接したい。

最後までお見送りをしてくれてうれしかった。

友だちの思いがよくわかった。

#### 支援

自分のワークシートに、活動を通して気がついたことを貼っておく。ワークシートを活用しながら、自分の思いを班の友だちに伝える。

ワークシート

写真

年長さんの様子

周りの人の関わり

自分の関わり  
気がついたこと

#### 支援

友だちの思いを聞きすばらしいと思ったところや、自分にはなかった気づきに注目して話を聞くようにする。

#### 留意点

これからどんな自分になりたいかを考えて画用紙に書く。みんなの発表を聞いて、どんな項目に分けられるか考える。

#### 板書

交流を通して気付いたことを話し合い、これからどんな自分になりたいかを考え発表しよう。

友だちの思い

どんな自分になりたいか

#### 評価

②ア年長児との交流を通して、学んだことをまとめたり、自分の課題を見つけ伝えたりしている。  
※評価方法…発言・振り返りワークシート

・本時に至るまでの自分たちの活動をふりかえることができるようにする。